

令和2年度 第2回 地域フォーラム

テーマ 【奈良のまちづくりと土地利用のあり方】

五條市の取組

「五條市のまちづくり」

五條市長 太田好紀

令和2年10月25日（日）

五條市民会館 大ホール

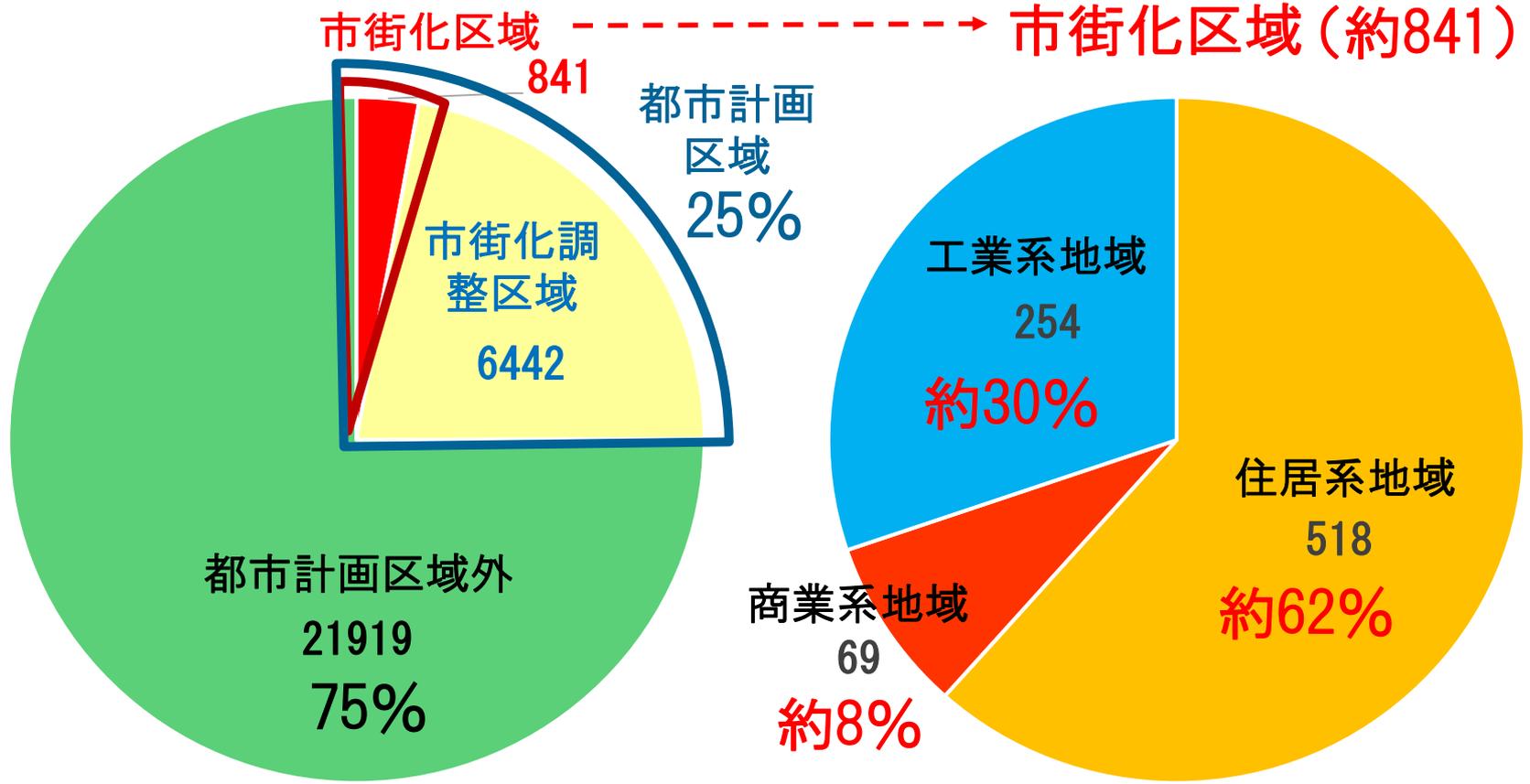


五條市の都市計画について

都市計画区域と用途地域について

- 五條市行政区域の約25%が都市計画区域、約75%が都市計画区域外である。
- 市街化区域の住居系地域は約62%、商業系地域は約8%、工業系地域は約30%である

五條市行政区域 (29, 202ha) 単位：ha

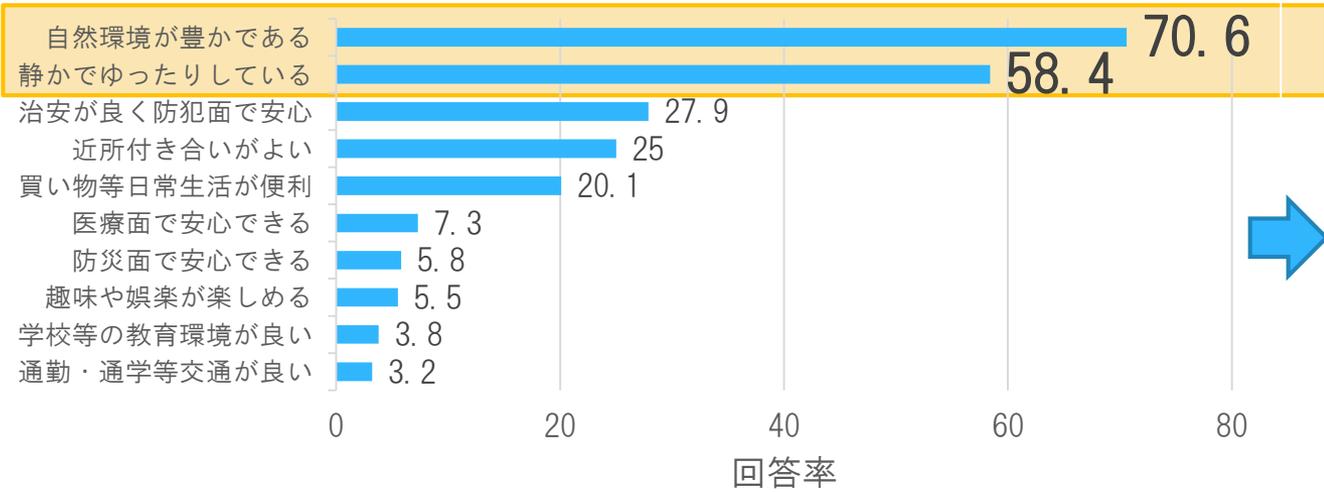


市民アンケート調査の結果

※アンケート内容：五條市の「まちづくり」について感じていること

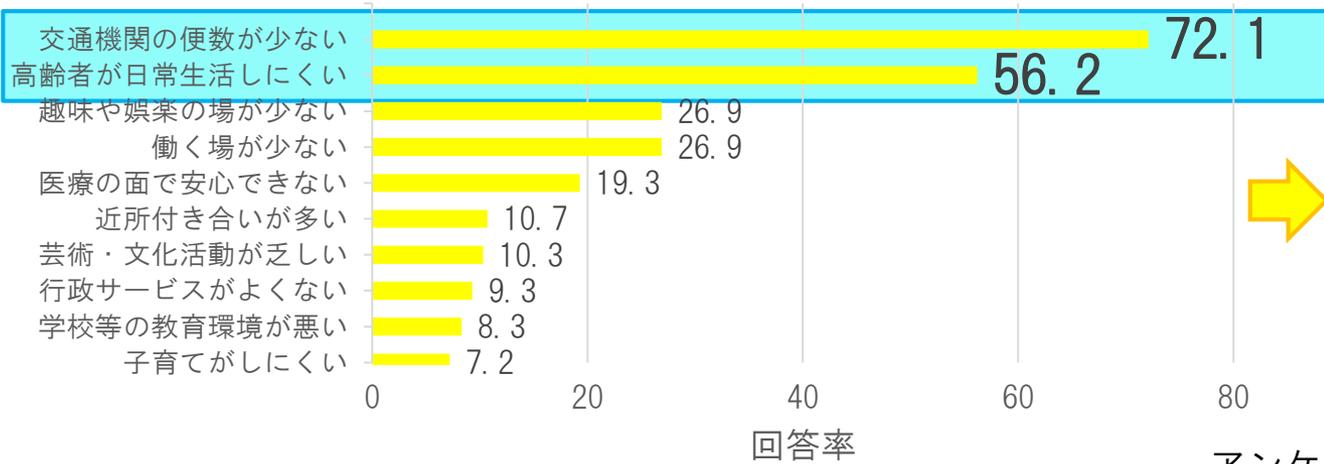
五條市の住み良い理由、住みにくい理由

住み良い理由



- 住み良い理由
- 自然が豊か
 - ゆったりしている

住みにくい理由



- 住みにくい理由
- 交通機関の便数の少なさ
 - 高齢者の生活のしにくさ

都市づくりの基本理念

将来都市像【豊かな自然・歴史と活力ある交流拠点都市 五條】

今回は、この3項目に着目!!

(1)安全で安心して、快適に暮らせる都市構造づくり

(2)生活・産業基盤が整った都市づくり

(3)南和地域の人・文化・情報の交流拠点となる都市づくり

(4)心が和む自然・歴史風土を再発見し、共有できる都市づくり

(5)人と人との絆を大切にした協働による都市づくり

(1) 安全で安心して、快適に暮らせる都市構造づくり

公共用地を利用したまちづくり

○集約型の都市構造拠点(国・県・市集約型のまちづくり)

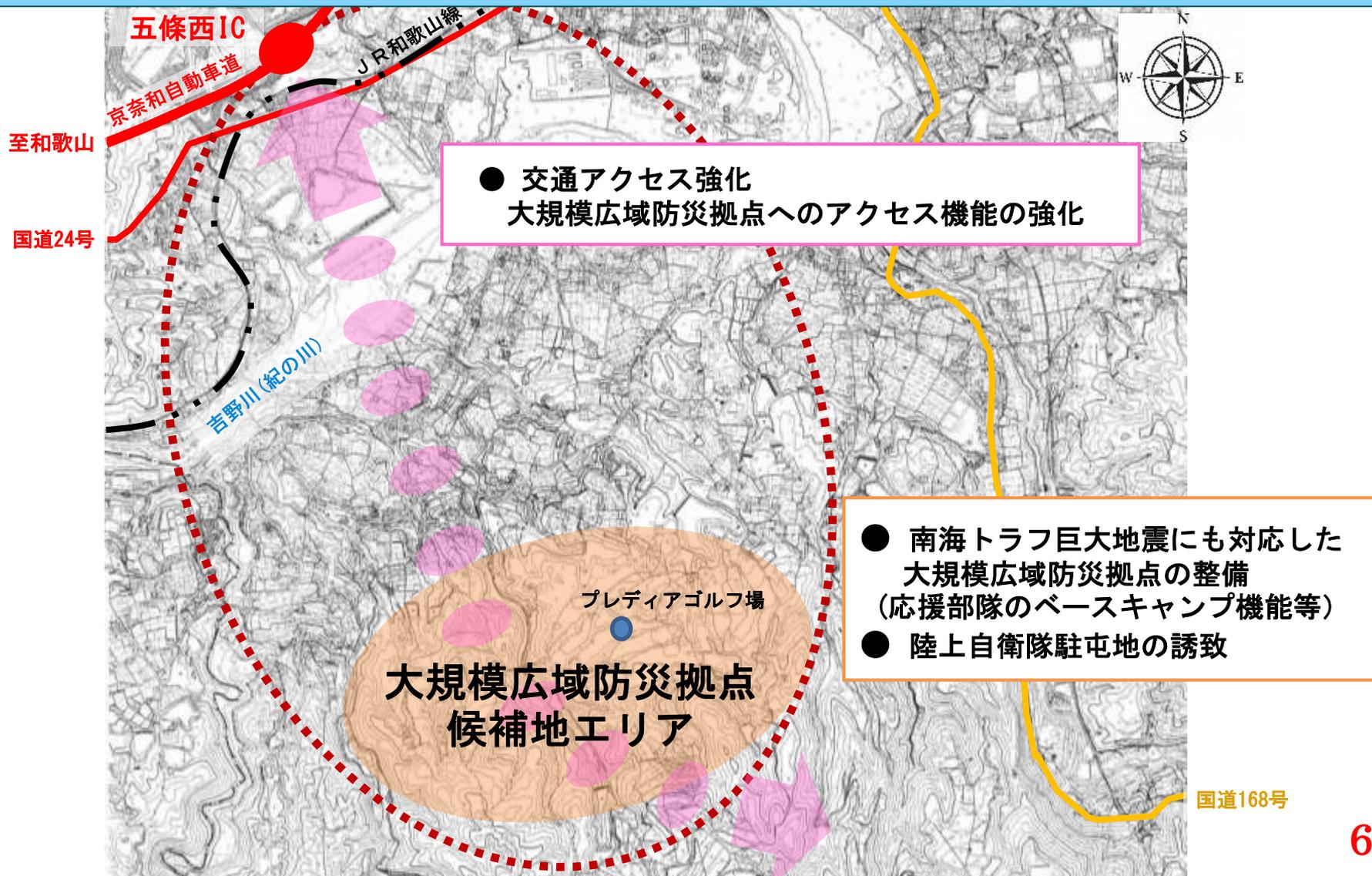
- ・ 五條市新庁舎 (国機関:ハローワーク 県機関:奈良県の出先機関 市機関:五條市役所)
3つの機関の集約型庁舎



(1) 安全で安心して、快適に暮らせる都市構造づくり

安全・安心なまちづくり

南海トラフ巨大地震等に対する迅速な**救援体制の構築**



(1) 安全で安心して、快適に暮らせる都市構造づくり

安全・安心なまちづくり

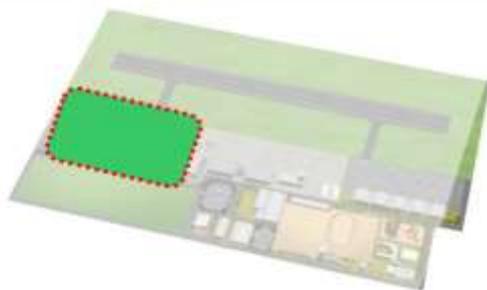
南海トラフ巨大地震等に対する迅速な**救援体制の構築**

大規模広域防災拠点の整備

- 奈良県では、将来発生が想定されている南海トラフ巨大地震などの災害に備えるため、五條市に大規模広域防災拠点を整備します。
- 整備効果の早期発現を目的に、以下のとおり段階的に進めます。

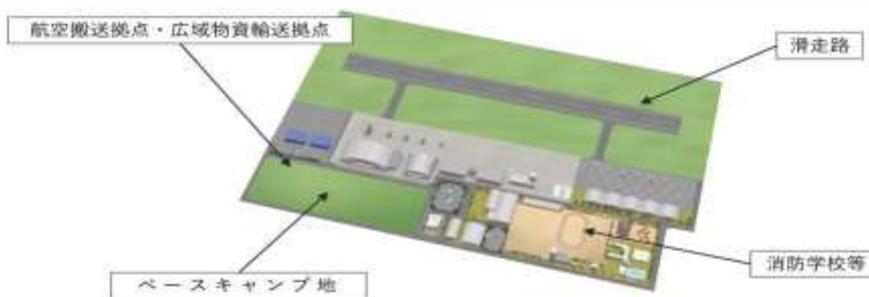
STEP1 広域防災拠点（約5haの平地）

- 早期の効果発現を目的に『**広域防災拠点**』（約5ha）を整備



STEP2 大規模広域防災拠点（防災施設と600m級滑走路）

- 複数の回転翼機の同時稼働が可能な『**600m級滑走路を有する大規模広域防災拠点**』を整備



STEP3 大規模広域防災拠点（防災施設の充実と2,000m級滑走路）

- 大量の物資人員を輸送可能な固定翼機の活用が可能となる『**2,000m級滑走路を有する大規模広域防災拠点**』を整備

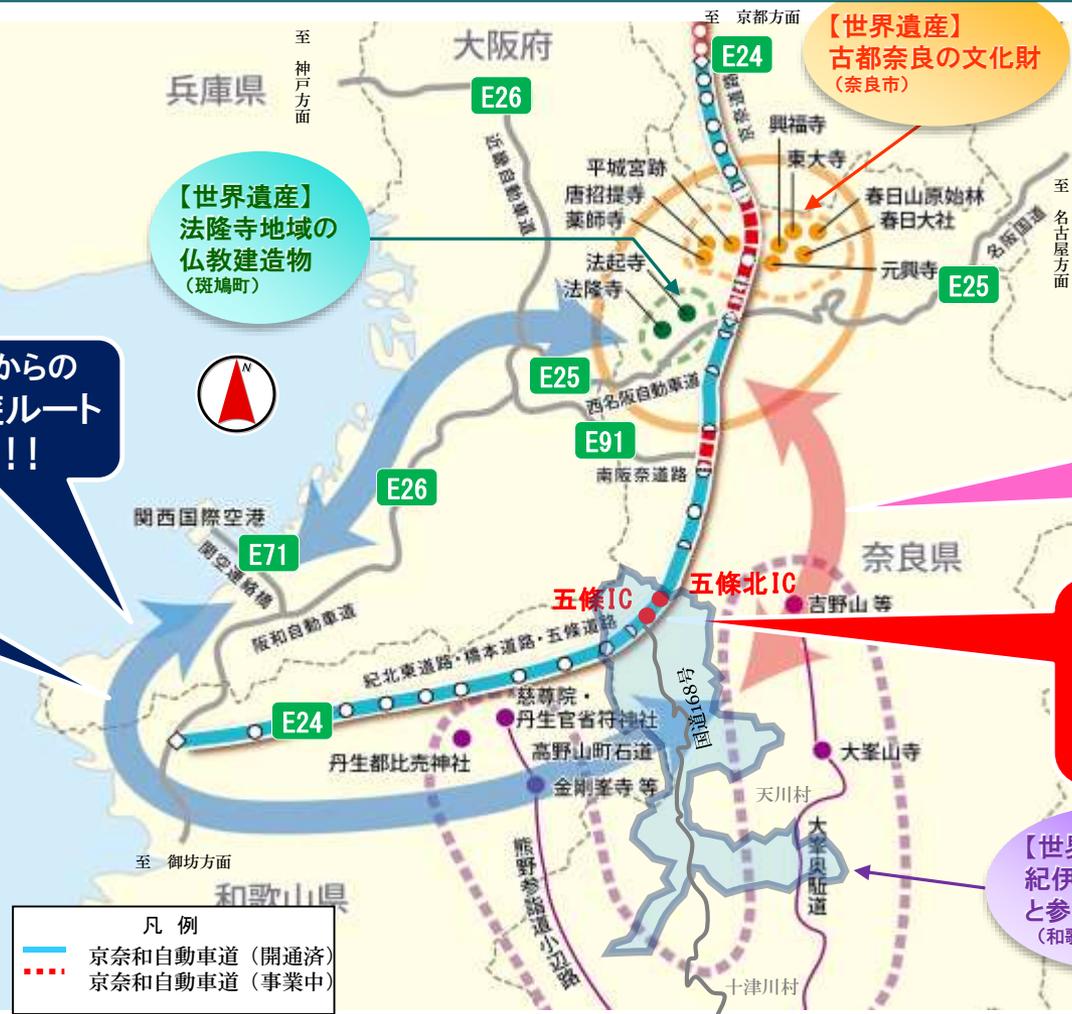


(2) 生活・産業基盤が整った都市づくり

(3) 南和地域の人・文化・情報の交流拠点となる都市づくり

京奈和自動車道を利用したまちづくり

- ・関西国際空港から阪和自動車道及び京奈和自動車道を利用すれば五條市まで**55分**。
- ・五條ICから国道168号を通り**天川村・十津川村**へ、五條北ICから国道370号を通り**大淀町・吉野町**へ



大阪・関空からの
新たな周遊ルート
を形成!!

関空～五條市
所要時間
55分

※所要時間
平成27年道路交通センサス
京奈和自動車道は80km/h



京奈和自動車道
開通後
京都・奈良～五條市
所要時間大幅に短縮

南和地域の
玄関口として
の五條市

【世界遺産】
紀伊山地の霊場
と参詣道
(和歌山県・奈良県)

ご清聴ありがとうございました

